

日本神経精神薬理学会
第45回理事会(2009年度)議事録

日時: 2009年11月12日(木) 13:30~15:30

場所: グランドプリンスホテル京都 B1F 比叡

(〒606-8505 京都府京都市左京区宝ヶ池 TEL: 075-712-1111 / FAX: 075-712-7677)

出席者: 米田幸雄(理事長), 池田和隆, 石郷岡 純, 大森哲郎, 尾崎紀夫, 小山 司, 曾良一郎
武田弘志, 武田雅俊, 松田敏夫, 山田清文, 山本経之(以上、理事), 加藤進昌(監事)
山脇成人(アドバイザー)

欠席者: 齋藤利和, 仲田義啓, 野村総一郎, 吉岡充弘(以上、理事), 五味田 裕(監事)

記録: 佐々木真紀(事務局: 学会支援機構)

冒頭に米田幸雄理事長から前々回(第43回)及び前回(第44回)理事会議事録(案)が提出され、承認された。

・報告事項

1. 第39回年会(第19回日本臨床精神神経薬理学会と合同開催)準備状況報告について
米田幸雄会長から本年会開催に関する概要が報告された。また、本年度は第19回日本臨床精神神経薬理学会(大森哲郎 CNP 会長)と第1回アジア神経精神薬理学会(1st AsCNP: 山脇成人会長)の3学会合同の大会であることが報告された。

2. 各委員会報告

a. 総務委員会(齋藤理事欠席のため米田理事長から報告)

- 1) 以下の通り会員報告がなされた。

会員数: 1,168名(2009年10月31日現在)

内 訳: 名誉会員 22名, 評議員 173名, 正会員 950名, 賛助会員 23社

新入会: 159名

退 会: 本人申出 42名

逝 去 2名

物 故 者 一般会員 内海光朝 会員 2005年 逝去

山田健二 会員 2009年1月30日 逝去

大月三郎 会員 2009年11月13日 逝去

評議員会/総会において黙祷が捧げられた。

- 2) 総務委員会のアンケート結果報告について

理事会から以下3点の検討要請に基づき、2009年10月13日に持ち回り委員会を開催し、同委員会として以下の内容で意見がまとまったため、委員会から以下の答申がなされた。

(1) 入会に関する推薦制度は存続させるが、評議員の推薦を会員の推薦に変更する。

新規入会に関しては、やはり少なくとも1名以上の評議員からの推薦が必要と思われる。特に、近年は精神疾患に対する一般的関心度が高く、研究機関とは全く関連しない患者団体やあるいは宗教団体などから、非学会員として年会に参加する場合も見受けられるため、学術研究団体としてのスタンスを守るためにも評議員の推薦手続きは必要と思われる。

(2) 新たに学生会員(学部学生、大学院生)の制度を設け、会費は一般会員の半額程度とする。

本案件には全面的に賛同し、進めるべきである。ただ、実際上は薬学部の場合には6年制へと大きく方向変換がなされたので、学部学生や大学院生の入会は極端に減少することが予想される。

(3) 会員の 카테고리については、「臨床薬学系」の新設は適切な提案では有るが、現在、日本臨床精神神経薬理学会との統合が検討されており、統合になった場合には 카테고리についての再検討が必要となるので、しばらくは現在の 카테고리を維持する。

やはり前理事会の決定通り当面は様子を見る必要がある。丁度基礎医学と臨床医学との葛藤のように、基礎薬学と臨床薬学との間にはかなりの乖離があるのが現状なので、臨床薬学に大きく舵を切ると基礎薬学が離れる心配がある。また、薬学以外の分野からの参加にも影響を与えかねないので、臨床薬学だけに焦点を当てるカテゴリ創設は時期尚早かと思われる。

以上の答申を受けて、(2)の学生会員制度の設置について議論し、学生会員制度を新設することで進めていくことになった。なお、学生会員資格及び年会費の設定は会則改定にも係ることから次回理事会にて改定条文を提示することになった。

b. 編集委員会(石郷岡理事)

雑誌刊行状況、依頼状況、査読状況につき以下の報告がなされた。

1. 刊行状況, 依頼状況, 査読状況

1) 刊行状況 第28巻(2008年)総説12、ミニレビュー13、原著論文2を掲載。

第29巻(2009年)総説17、ミニレビュー6、原著論文4を掲載。

2) 依頼状況 依頼論文5編。

3) 査読状況 本年の投稿は総説2、原著論文1(うち英文0)、短報1 計4編にとどまっている。現在査読中はそのうち2編である。

2. 執筆依頼・企画

例年どおり編集委員による総説とミニレビューの依頼と今年の学会シンポジウムの打診をすでに行っており、回答が返ってきてつつある状況である。

3. e-Journal化についてはJ-STAGEを利用することで具体的に検討していくことになった。CNP側もe-Journal化の実現に向け準備を進めており、将来的に双方で協議を進めていくことになるが、機関誌名において“Clinical”がハードルにならないよう配慮いただきたいとの要望をCNP側へ伝えることになった。

c. 財務委員会(武田(弘)理事)

審議事項にて掲載。

d. 国際学術委員会(尾崎理事)

今回、第1回アジア神経精神薬理学会(1st AsCNP)が山脇成人先生を会長に開催される。CINP役員も来日しており、来年のCINP2010は香港で開催されることもあり、日本からも多数の参加が期待されている。

以上のことから、国際交流の活性化を目的として、神経精神薬理振興基金から優秀演題賞(JSNP Excellent Presentation Award for CINP 2010)として、参加の助成を行うことが決定された。審査は学術委員会が担当し、以下の内容にて会員へ公示することになった。

対象: CINP 香港大会にて発表される演題

資格: 日本神経精神薬理学会 会員

副賞: 10万円(20名を上限として選出)

応募方法: CINP 香港大会に応募した Abstracts を下記事務局までご提出下さい。

応募先: 日本神経精神薬理学会事務局

応募締切: CINP 香港大会の応募締切日に準じます。

備考: 授賞式はCINP 香港大会期間中に実施される予定。

受賞者は「日本神経精神薬理学会雑誌」に発表報告を投稿することが求められ

ます。

e. 学術賞選考委員会（山本理事）

本年度の審査対象論文は、臨床系研究論文 1 件および非臨床系研究論文 2 件の 3 件であった。対象論文に対する審査委員長を含めた 8 名の審査員による審査スコア（5 項目；各 5 点満点）並びに評価コメントを求め、1 次審査を行った。

それを基に 2 次審査を行い、臨床系部門では該当者なし、また、非臨床系部門では中尾 薫氏 [東レ（株）医薬研究所] 「アトピー性皮膚炎モデルの引っ掻き行動に対するオピオイド受容体作動薬 TKR-820 の効果」(日本神経精神薬理学雑誌、2008、28 巻、p75-83、2008 年) に決定した。また、標記学術賞について、下記の通り受賞式、受賞講演が行われる。

< 受賞式・受賞講演 >

日時：11 月 15 日（日）11：00～11：30

会場：国立京都国際会館 第 4 会場（Room B 2）

司会：山本経之 学術賞選考委員会委員長（長崎国際大学薬学部薬理学研究室）

なお、ここ数年、審査対象論文が減少しており、今後の対策・学術賞あり方について協議していく必要があるとの提言がなされた。

f. 長期計画委員会（小山理事）

NP と CNP の統合に関して、NP 会員に対し、アンケート調査を行うことになったため、総務委員会と連携して、進めていきたいとの報告がなされた。

g. 広報委員会（吉岡理事欠席のため米田理事長から報告）

本学会ホームページの最新の掲載内容について報告がなされた。

h. 研究推進委員会（武田（雅）理事欠席のため米田理事長から報告）

報告事項は特になし。

i. 倫理委員会（松田理事）

報告事項は特になし。

3. 第 40 回年会（第 20 回日本臨床精神神経薬理学会と合同開催）準備状況報告

曾良次期会長より以下の通り年会準備状況について報告された。

第 40 回日本神経精神薬理学会年会

日時：2010 年 9 月 15 日（水）～17 日（金）（9 月 14 日（火）は理事会・各委員会開催予定）

会場：仙台国際センター（仙台市）

会長：曾良一郎（東北大学大学院医学系研究科 精神・神経生物学分野 教授）

第 20 回日本臨床精神神経薬理学会（大谷浩一 CNP 会長）と合同開催

4. その他（米田理事長）

科学研究費補助金の審査に係る「系・分野・分科・細目表」の別表「時限付き分科細目表」の改正案に関する学協会からの意見募集について

新分野候補名「こころの健康と希望の科学」として当会から提案・提出したことが報告された。

. 審議事項

1. 2008 年度収支決算、2009 年度会計中間報告および 2009 年度予算案、2010 年度予算案の件（武田（弘）理事）

1) 2008 年度収支決算について

2009年度収支決算および神経精神薬理振興基金決算について報告がなされた。また、振興基金の運用については、CINP参加のための助成や海外からの招聘補助などを目的として、理事会で承認されたものを執行していくことが確認された。

2) 2008年度監査報告書について

監事2名による監査の結果、収支の記載が適正であると認められていることが確認された。

3) 2009年度収支予算案について報告され、承認された。

4) 2009年度会計中間報告がなされた。

5) 2010年度収支予算案について

慣例により当年度予算案は当年度の年会時の評議員会/総会において承認していたが、新事業年度が始まる前に承認すべき事項でもあるので、前回理事会において評議員会/総会では、次年度の予算案を諮るとの方針を決定し、今回から次年度予算案を提出することになったとの説明がなされた。引き続き、2010年度予算案について審議を行い、承認された。

2. 次々期会長の選出(米田理事長)

2011年の次期会長について、前々回の理事会において鈴木 勉教授(星薬科大学)にお願いすることが承認されたことが確認された。理事長から鈴木 勉教授へ会長就任について打診し、快諾いただいたことが報告された。

3. 新評議員推薦の件(斎藤理事欠席のため米田理事長から報告)

以下の5名が推薦されており、審議の結果、評議員として委嘱することが承認された。

永井 拓(名古屋大学大学院医学系研究科医療薬学)

辻 稔(国際医療福祉大学薬学部薬理学分野)

橋本謙二(千葉大学社会精神保健教育研究センター)

吉野達規(自治医科大学附属病院薬剤部)

高濱和夫(熊本大学大学院医学薬学研究部環境分子保健学分野)

4. 新入会希望者承認の件(斎藤理事欠席のため米田理事長から報告)

本年4月1日から10月31日までに84名の入会申込者があったことが報告され、全員が承認された。

5. 事務所移転に伴う会則改定の件(米田理事長)

米田理事長から事務委託先の移転に伴い、会則上の事務局所在地が変更となることから該当条文の会則改定案が提出され、承認された。

旧:第2条 本会は、事務局を東京都新宿区改代町26-1-B03 有限責任中間法人学会支援機構に置く。

とあるのを

新:第2条 本会は、事務局を東京都文京区大塚5丁目3番13号 一般社団法人学会支援機構に置く。

と改定する。

以上

平成21年11月12日
日本神経精神薬理学会
理事長 米田 幸雄